

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1070-1	(H.22)No.	1070
-----------	--------	-----------	------

事務事業名		医療体制推進費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療室		富岡恵子	63-6970
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	昭和	52年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	250502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	医療体制推進費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>時間外の一次救急医療を確保するため名張市応急診療所への医師派遣を医師会へお願いしている。また、小児科医師以外の医師が応急診療所での診療に従事するため小児救急医療医師研修を実施している。歯科の一次救急患者の受入れについては、歯科医師会へ年末年始の在宅歯科診療をお願いしている。また、かかりつけ医をもつことを啓発するとともに、市民が時間外に急病になったときに適切な医療機関で受診できるよう救急医療情報システムの活用も啓発している。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>夜間・休日の一次および二次救急患者の受入れ体制を確保するとともに、救急医療の適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	<p>[事業内容(事業量)・事業費]            年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円            一次救急医療体制事業委託 3,015,000円            救急医療情報システム運営事業 425,798円            救急輪番制当番表印刷及び配布 418,587円            啓発チラシ印刷 75,600円            寄附講座設置促進報償 4,692円</p>	<p>[事業内容(事業量)・事業費]            年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円            一次救急医療体制事業委託 3,015,000円            救急医療情報システム運営事業 825,000円</p>	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託(全部・一部)により実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			平成23年度と同様に実施予定	平成23年度と同様に実施予定	平成23年度と同様に実施予定
<b>直接事業費</b>	<b>4,220千円</b>	<b>4,120千円</b>	<b>4,120千円</b>	<b>4,120千円</b>	<b>4,120千円</b>
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	273	273	273	273	273
地方債					
その他(諸収入)	323	352	352	352	352
一般財源	(0) 3,624	3,495	3,495	3,495	3,495
人工数					
職員	0.75人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等					
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 5,475千円</b>	<b>2,190千円</b>	<b>2,190千円</b>	<b>2,190千円</b>	<b>2,190千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 9,695千円</b>	<b>6,310千円</b>	<b>6,310千円</b>	<b>6,310千円</b>	<b>6,310千円</b>

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		6,717	8,608	6,369		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.2		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	80.0
	実績		77.4	78.0	79.9		
考察及び今後の対応方針		救急医療の適正受診をさらに促進することにより、地域で安心できる医療体制の整備に努める。					

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
時間外の一次救急患者の受け入れ体制を確保するとともに、医療への適正受診を促進することにより、地域で安心できる医療体制整備に努める。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 1070-2 (H.22)No. 関連(3039)

事務事業名		医療体制推進費 (病院群輪番制病院運営事業負担金関係)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療体制担当 / 地域医療室		岩名静枝 / 富岡憲子	63-7579
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度	病院群輪番制病院運営事業に関する協定書 等			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード 1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	250505
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営事業補助金	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
伊賀地域の二次救急医療に対応するため、名張市立病院・上野総合市民病院・岡波総合病院が救急輪番体制を整備するにあたり、必要な運営経費の補助を行う。加えて、岡波総合病院に対しては、民間病院救急医療体制整備にかかる補助を行う。 なお、補助金の交付事務局を平成23～25年度まで伊賀市が担当し、同市で補助した経費を人口割合に応じ、名張市において負担する。	

めざす効果(事業目的)	
伊賀地域内において、二次救急患者の受入れ体制を確保することにより、地域で安心できる医療体制の整備を図る。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]  平成20～22年度は名張市が補助金交付事務局であったため、「病院群輪番制病院運営事業補助金」により事業シート(3039)作成済。	[事業内容(事業量)・事業費] 総事業費 24,612千円 病院群輪番制病院運営事業 (@63,000円×488コマ)× (83,000人/184,000人) = 13,868,217円 民間病院救急医療体制整備事業 (@189,000円×126コマ)× (83,000人/184,000人) = 10,742,184円	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費		24,612千円	24,612千円	24,612千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他(分担金)					
一般財源	(0)	0	24,612	24,612	24,612	0
人工数	職員		0.10人	0.10人	0.10人	
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円)	(0千円)	730千円	730千円	730千円	0千円
+ 総事業費	(0千円)	0千円	25,342千円	25,342千円	25,342千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	3病院輪番制受診者数	-	-	-	-	-
	実績		7,230	6,666	6,836		
成果指標	目標	地域医療体制に満足している市民の割合	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.2		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		救急輪番体制を継続する中で、伊賀地域3病院が相互の連携やサポート体制を強化することにより、安心できる救急医療体制の整備に努める。					

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>医師不足による厳しい医療環境が改善される見込みがない中、救急医療については、公立2病院のあり方や開業医療機関との連携強化など、地域で安心できる医療体制の整備が求められる。</p>	<p>伊賀地域内で救急患者を受入れられる体制を確保すること 等</p>

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践している"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="その他団体"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="補助・助成"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text" value="継続(現行)"/>	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
救急輪番体制を継続する中で、伊賀地域3病院が相互の連携やサポート体制を強化することにより、安心できる救急医療体制の整備に努める。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1070-3	(H.22)No.	
-----------	--------	-----------	--

事務事業名 <b>医療体制推進費 (医療体制推進寄附講座開設寄附金関係)</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療体制担当 / 地域医療室	岩名静枝 / 富岡憲子	63-7579
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4 健康長寿のまちづくり
	施策	2 地域医療
	小施策	2 救急医療体制の充実
重点施策コード 1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	250502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	医療体制推進費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>地域医療再生基金を活用し、関係大学に対して寄附講座を設置し、専門性の高い医療の研究を進めるとともに、名張市立病院への医師派遣により、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。 平成22～25年度まで実施。事業費の1/2は地域医療再生基より補助(但し三重大学分は全額補助)。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>それぞれの研究を通じて質の高い医療を実現するとともに、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 総事業費12,000千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他8,000千円 2.委託事業 奈良県立医科大学4,000千円	[事業内容(事業量)・事業費] 総事業費 64,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他52,500千円 2.委託事業 奈良県立医科大学12,000千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			平成23年度と同様に実施予定	平成23年度と同様に実施予定		
<b>直接事業費</b>	<b>12,000千円</b>	<b>64,500千円</b>	<b>54,500千円</b>	<b>54,500千円</b>		
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金	4,000	36,500	30,500	30,500		
地方債						
その他( )						
一般財源	(0) 8,000	28,000	24,000	24,000		0
人工数						
職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人		
臨時職員等						
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 730千円</b>	<b>730千円</b>	<b>730千円</b>	<b>730千円</b>	<b>730千円</b>	<b>0千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 12,730千円</b>	<b>65,230千円</b>	<b>55,230千円</b>	<b>55,230千円</b>	<b>55,230千円</b>	<b>0千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。



### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	寄附講座設置数	件	-	-	-	3
	実績			-	-	2	
成果指標	目標	地域医療体制に満足している市民の割合	%	-	-	-	31.0
	実績			29.4	32.5	33.2	
成果指標	目標	かかりつけ医を決めている人の割合	%	-	-	-	80.0
	実績			77.4	78.0	79.9	
考察及び今後の対応方針		地域医療体制を確保するには、医師確保が重要であるため、関係大学に寄附講座を設置することにより、医師派遣に繋げると共に、専門性の高い医療研究により、医療の質を向上させ、医療従事者にとって魅力ある病院づくりをすることにより、医師確保に繋げる。					

### 6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>医師確保のため、地域医療再生基金事業の一環として実施するが、同事業は平成25年度までであり、伊賀地域の二次救急体制を早急に確保するためにも、この事業を積極的に推進する必要がある。</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>伊賀地域内で救急患者を受け入れられる体制を早急に確保するためには、医師確保が最重要課題である。</p>
--	--

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p><b>総合評価(事業の展開方法)</b> 継続(現行)</p> <p>(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など</p> <p>(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など</p> <p>平成25年度まで地域医療再生基金を活用できることもあり、医師確保が伊賀地域医療体制整備のための最重要課題であるため、事業を継続する。</p>	<p>特記事項</p>
---	-------------

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1072	(H.22)No.	1072
-----------	------	-----------	------

事務事業名		献血推進事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 49 年度 ~ 平成 年度	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	250504
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	献血推進事業

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>安全な血液の安定した供給・確保のため、名張市献血推進協議会の協力のもと啓発活動を進め、地域住民及び市内事業所等への献血思想の普及に努める。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>献血に対する思想の普及を図り、理解・協力・参加していただき、血液製剤を確保する。</p>
--	--

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 移動採血車配車日数 22日(延53会場) 内3日 啓発活動実施 ・献血ページェント(7月) ・献血推進の日(11月) ・ウインター献血キャンペーン(2月) 献血者数 794名	[事業内容(事業量)・事業費] 移動採血車配車予定日数 22日 啓発活動の予定 ・献血ページェント ・献血推進の日 ・ウインター献血キャンペーン 献血目標者数 1,034人	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( 日赤と共同で実施 )	
直接事業費	123千円	135千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 123	135	135	135	135
人工数					
職員	0.45人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 3,285千円	4,380千円	4,380千円	4,380千円	4,380千円
+ 総事業費	(0千円) 3,408千円	4,515千円	4,515千円	4,515千円	4,515千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		958	921	794		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	事業を推進し、より良い成果が得られるよう努める。						

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
400ml献血の採血可能年齢が引き下げられるなど、輸血用血液製剤を常に安定的に供給できるように、献血への協力を求めている。	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 安全な輸血用血液の確保や血液製剤の原料となる血液の確保が必要である。	



# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1073	(H.22)No.	1073
-----------	------	-----------	------

事務事業名		地域医療推進事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 21 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
	重点施策コード	1-2.安心できる医療体制の整備(在宅医療体制の充実)	

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	250601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	地域医療推進事業
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	地域医療推進事業

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>市民が住みなれた地域で安心して暮らすための医療や介護が受けられる在宅医療体制を構築するため、名賀医師会に「在宅医療支援センター」の運営を委託し、市内医療機関(医科・歯科・薬剤師)・福祉機関従事者と協力し、在宅療養支援体制の検討会、講演会、研修会などを実施する。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>医師会主導型で在宅医療体制の拠点となる「在宅医療支援センター」を運営し、関係医療機関・福祉機関等が連携して、市民が安心して在宅で療養しながら暮らすことができる体制を構築する。</p>
---	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)							
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)					
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 在宅医療支援センター運営委託(委託先:名賀医師会 委託期間:2~3月 2ヶ月間) 地域医療(ケア)整備検討委員会(7回) 医療関係部会(3回) 基本情報作成作業部会(4回) ガイドブック・マップ作成部会(5回) 「在宅医療をすすめるフォーラム」開催(1回) 従事者研修会開催(2回) 先進地視察(1回) 施設(在宅医療支援センター事務所)整備	[事業内容(事業量)・事業費] 在宅医療支援センターの運営を委託(委託先:名賀医師会 委託期間:4~3月 1年間)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>市が直接実施</td> </tr> <tr> <td>業務委託(全部・一部)により実施</td> </tr> <tr> <td>指定管理</td> </tr> <tr> <td>補助金・交付金</td> </tr> <tr> <td>その他 ( )</td> </tr> </table>			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ( )
市が直接実施										
業務委託(全部・一部)により実施										
指定管理										
補助金・交付金										
その他 ( )										
直接事業費	10,613千円	12,251千円	12,251千円	12,251千円	12,251千円					
財源内訳 (千円)	国庫支出金									
	県支出金	7,233								
	地方債									
	その他( )									
一般財源	(0)	3,380	12,251	12,251	12,251					
人工数	職員	0.90人	1.10人	1.10人	1.10人					
	臨時職員等	1.00人								
概算人件費	(0千円) 8,270千円	8,030千円	8,030千円	8,030千円	8,030千円					
+ 総事業費	(0千円) 18,883千円	20,281千円	20,281千円	20,281千円	20,281千円					

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	回	-	-	-	-	-
	実績		-	11	19		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.2		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	よりよい成果が得られるよう努める。						

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
意識調査において、介護が必要になったとき自宅で介護を受けたいと望んでいる人が70%、しかし実際に最後まで自宅で療養が出来ると考えている人はわずか7%である。在宅療養体制を整備し、望むところで医療等のサービスが受けられるような体制づくりが必要である。	

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 名賀医師会へ事業委託し、医師会主導型で在宅医療支援体制が構築できるよう取り組みを進める。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3038	(H.22)No.	3038
-----------	------	-----------	------

事務事業名		開業医救急車受入支援補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療体制担当 / 地域医療室		岩名静枝 / 富岡憲子	63-7579
新・継	事業期間		根拠法令等		
新規	平成	22年度～平成	年度	名張市開業医療機関救急搬送患者受入支援補助金交付要綱	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	250506
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	開業医救急車受入支援補助金	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>本市の危機的な救急医療に対応するため、名賀医師会に所属する開業医療機関に対して、名張市消防本部の救急車で搬送される患者(以下「救急搬送患者」という。)の受入れについて協力をお願いするとともに、その受入れに対する支援を行うことにより、救急医療体制の補完および充実を図る。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>開業医療機関における救急搬送患者の受入れ体制を充実させることにより、安定的な救急医療体制を確保するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	<p>[事業内容(事業量)・事業費] 総事業費 2,510,000円 事業開始平成22年7月1日(9ヶ月間) 【内訳】 1. 10,000円×174件=1,740,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで  2. 5,000円×154件=770,000円 上記以外のとき</p>	<p>[事業内容(事業量)・事業費] 予算額 3,600,000円 【内訳】 1. 10,000円×240件=2,400,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで  2. 5,000円×240件=1,200,000円 上記以外のとき</p>	<p>市が直接実施</p> <p>業務委託(全部・一部)により実施</p> <p>指定管理</p> <p>補助金・交付金</p> <p>その他 ( )</p>	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
直接事業費	2,510千円	3,600千円	4,000千円	4,400千円	4,800千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 2,510	3,600	4,000	4,400	4,800
人工数					
職員	0.04人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 292千円	365千円	365千円	365千円	365千円
+ 総事業費	(0千円) 2,802千円	3,965千円	4,365千円	4,765千円	5,165千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		372	334	328		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.2		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	今後の事業実績等を踏まえ、安心な救急医療体制の整備に努める。						

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
医師不足による厳しい医療環境が改善される見込みがない中、救急医療については、公立2病院のあり方や開業医療機関との連携強化など、地域で安心できる医療体制の整備が求められる。	市内もしくは伊賀地域において、救急患者を受入れられる体制を確保すること等

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
今後の事業実績等を踏まえ、安心な救急医療体制の整備に努める。	

## 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3039	(H.22)No.	3039
-----------	------	-----------	------

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業補助金			事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先		扶助費
健康福祉部	地域医療体制担当 / 健康福祉政策室	岩名静枝 / 高嶋正広	63-7579		補助金交付金
新・継	事業期間	根拠法令等			投資事業
継続	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度	病院群輪番制病院運営事業に関する協定書 等			施設等維持管理
					内部管理事務
				特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	250505
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営事業補助金

## 3. 事務事業の概要

事業概要
<p>伊賀地域の二次救急医療に対応するため、名張市立病院・上野総合市民病院・岡波総合病院が救急輪番体制を整備するにあたり、必要な運営経費の補助を行う。加えて、岡波総合病院に対しては、民間病院救急医療体制整備にかかる補助を行う。</p> <p>なお、名張市立病院については、別途「病院事業会計繰出金」より支出するため、本補助金の交付対象は上野総合市民病院と岡波総合病院とし、当市で補助した経費は人口割合に応じて、伊賀市においても負担を行う。平成23年度から3年間は、伊賀市が補助金支払事務を行うため、病院群輪番制病院運営事業負担金で支出する。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>伊賀域内において、二次救急患者の受入れ体制を確保することにより、地域で安心できる医療体制の整備を図る。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	<p>[事業内容(事業量)・事業費]</p> <p>病院群輪番制病院運営事業</p> <p>・岡波総合病院 123日 ・上野総合市民病院 110日</p> <p>・合計 63,000円 × 233日 = 14,679千円</p> <p>民間病院救急医療体制整備事業</p> <p>・岡波総合病院 189,000円 × 123日 = 23,247千円</p>	<p>[事業内容(事業量)・事業費]</p> <p>病院群輪番制病院運営事業負担金で支出</p>	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託(全部・一部)により実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
直接事業費	37,926千円				
財源内訳 (千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(分担金)	20,801				
一般財源	(0)	17,125	0	0	0
人工数					
職員	0.20人				
臨時職員等					
概算人件費	(0千円)	1,460千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円)	39,386千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。



## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	3病院輪番制受診者数	-	-	-	-	-
	実績		7,230	6,666	6,836		
成果指標	目標	地域医療体制に満足している市民の割合	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.2		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		医師不足により、当面は救急輪番体制を継続せざるを得ないが、名張市と伊賀市においては、公立2病院の機能分担や経営統合などの検討を進めているところであり、地域で安心できる医療体制の整備に努める。					

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
医師不足による厳しい医療環境が改善される見込みがない中、救急医療については、公立2病院のあり方や開業医療機関との連携強化など、地域で安心できる医療体制の整備が求められる。	

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text"/>	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text"/>		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text"/>		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text"/>	
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5010	(H.22)No.	5010
-----------	------	-----------	------

事務事業名		保健センター管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療室		富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	名張市保健センター設置条例

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	1	健康づくり
	小施策	2	保健予防の充実
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	255001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健センター管理費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健センター管理費	保健センター管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>保健センターを拠点として、健康増進法・感染症予防法・予防接種法等に基づく事業の企画・調整等を医師会・歯科医師会の協力を得て実施し、市民の健康保持及び増進を図るための健康づくり事業や地域医療体制の整備等を進めている。これらの事業を円滑に進めるため、建物及び付帯設備の保守点検など維持管理を行っている。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>健康づくり・地域医療の拠点として、様々な事業を企画・立案・実施するとともに、保健センターの管理を十分行い、多数の市民が利用しやすい環境を保つ。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用 行事の回数 288回 施設利用者数 保健センター:7,628人 応急診療所 :6,369人		[事業内容(事業量)・事業費] 光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用		補助金・交付金	その他 ( )	
					平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費		6,118千円		6,916千円	6,916千円	6,916千円	6,916千円
財源内訳(千円)	国庫支出金						
	県支出金	400		335	335	335	335
	地方債						
	その他(諸収入)	371		403	403	403	403
一般財源	(0)	5,347		6,178	6,178	6,178	6,178
人工数	職員	0.55人		0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円)	4,015千円		4,380千円	4,380千円	4,380千円	4,380千円
+ 総事業費	(0千円)	10,133千円		11,296千円	11,296千円	11,296千円	11,296千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
施設の老朽化により、施設・設備等の修繕が必要となっている。今後も修繕箇所が増える見込みである。	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 市民の健康保持及び増進に関する事業、地域医療体制整備の拠点である施設の管理、維持のため継続が必要である。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6072	(H.22)No.	6072
-----------	------	-----------	------

事務事業名		保健衛生総務一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療室		富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度	~	平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	250501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	保健衛生総務一般経費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
医療に関する事務経費	保健衛生業務の円滑な実施

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 事務経費 用紙等事務用消耗品費 医療に関する研修旅費	[事業内容(事業量)・事業費] 事務経費 用紙等事務用消耗品費 医療に関する研修旅費	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画			補助金・交付金	その他 ( )	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	104千円	105千円	事務経費 用紙等事務用 消耗品費 医療に関する研 修旅費	事務経費 用紙等事務用 消耗品費 医療に関する研 修旅費	事務経費 用紙等事務用 消耗品費 医療に関する研 修旅費
財源内訳 (千円)			105千円	105千円	105千円
国庫支出金					
県支出金	7	67	67	67	67
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 97	38	38	38	38
人工数					
職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 730千円	730千円	730千円	730千円	730千円
+ 総事業費	(0千円) 834千円	835千円	835千円	835千円	835千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
	実績						
目標	実績						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 業務遂行において必要な事務経費である。	



# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6073	(H.22)No.	6073
-----------	------	-----------	------

事務事業名		応急診療所費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 59 年度 ~ 平成 年度	名張市応急診療所の設置及び管理に関する条例	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	255502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	応急診療所費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	応急診療所費	応急診療所費

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>名賀医師会、名賀保険薬局会の協力のもと、休日及び夜間の急病患者に対し応急的な医療を提供する。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>地域住民の休日、夜間の一次救急医療を確保し、一次・二次の役割分担の徹底及び適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。</p>
---	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 応急診療所の運営・維持管理 ・開所日数 365日 ・受診者数 6,369人 ・受付時間 【平日夜】 午後8~11時 【日・祝・年末年始】 午前9~12時 午後3~5時 午後8~11時	[事業内容(事業量)・事業費] 応急診療所の運営・維持管理 ・開所日数 365日 ・受付時間 【平日夜】 午後8~11時 【日・祝・年末年始】 午前9~12時 午後3~5時 午後8~11時	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	応急診療所の 運営、維持管理 ・開所日数 366日	応急診療所の 運営、維持管理 ・開所日数 365日	応急診療所の 運営、維持管理 ・開所日数 365日
直接事業費	37,707千円	40,645千円	40,645千円	40,645千円	40,645千円	
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他(諸収入)	37,707	40,645	40,645	40,645	40,645	
一般財源	(0) 0	0	0	0	0	
人工数						
職員	3.00人	4.05人	4.05人	4.05人	4.05人	
臨時職員等	3.00人	3.15人	3.15人	3.15人	3.15人	
概算人件費	(0千円) 27,000千円	34,920千円	34,920千円	34,920千円	34,920千円	
+ 総事業費	(0千円) 64,707千円	75,565千円	75,565千円	75,565千円	75,565千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		6,717	8,608	6,369		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 地域住民の一次救急医療を確保するため、休日・毎夜間及び年末年始等の時間外一次救急の受入を継続的に行うことが必要。	